

令和5年度

事業実績報告書

事業所名	居宅介護支援事業所 ふくもり			職名	人数	備考
施設長・管理者名	西谷由美			施設長	1名	兼務(こもれび、ふくもり、みのり大山) 兼務(施設長・介護支援専門員)
実施事業	居宅介護支援事業			管理者(主任介護支援専門員)	1名	
開設年月日	平成23年7月15日			介護支援専門員	4名	
所在地	倉吉市福守町492-1			生活相談員	名	
正規職員(総合職)数	3名			看護師	名	
正規職員(一般職)数	0名			介護員		
準職員数	フルタイム 0名 : パートタイム 0名			調理員	名	
契約職員数	フルタイム 1名 : パートタイム 0名			夜間専門員	名	
定員	120名	実績利用者数 130.3名/月 (介護・予防)	充足率 100%		名	
				計	4名	
項目	事業計画			事業実績		
1 基本方針	ご利用者様が介護保険やあらゆる社会資源を活用し、住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう誠心誠意支援します。					
2 運営	(1)利用者確保に努め、加算を得ることで経営の安定化を図ります。 (2)必要なケアマネジメント(ケアプラン作成・各種の記録・月1回の訪問・モニタリング・評価等)を確実に実施し、法令を遵守し、運営基盤を確固としたものにします。 (3)医療連携室等との連携を図り、スムーズな退院ができるように支援します。 (4)定期的にサービスの実施状況を把握し、必要に応じてケアプランの変更を行いご利用者様の自立支援に努めます。 (5)定期的な訪問を通じて行政および各事業所との良好な関係を築き、情報収集や連携に努めます。					
3 主な実施事業	(1)施設整備計画 なし			(1)施設整備実績 なし		
(1)施設整備事業	なし			なし		
(2)事業活動	コスモスを通じての地域との交流 みのり大山入居者様と7月にコスモスの種植え 種取りをして11月の文化祭に来場の地域の方へ配布			ご利用者様との交流は、新型コロナウイルス感染予防のため機会がなかった。		
4 安全管理・衛生管理	(1)感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります。 (2)新型コロナウイルス感染症について感染拡大防止のため屋内では短時間でも会話時にはマスクを着用し、三密を避け、危機管理意識を持って感染防止に取り組めます。また、感染拡大を抑えるのは個人の行動にあることを認識し、基本的な感染予防「感染しない」「感染させない」を意識し感染防止の徹底をします。 ・【密閉した空間】【密集する場所】【密接する場所】の3密の集団となることは避け ます。 ・体調が悪い職員が出勤することがないよう、職員の健康管理を徹底します。 ・アルコール等適切な方法による消毒を行います。 (共同利用空間における感染予防) (3)交通規則の遵守、運転前後のアルコール検査の実施、運転日誌の記録、車の点検をする等交通安全に努めます。また、必要に応じて運転講習会に参加を します。			(1)(2)新型コロナウイルス等の感染予防対策として、感染対策をするよう朝礼で 毎回周知し手洗い、建物内の消毒を徹底、職員の体調管理の啓発等を行い感染 防止に努めた。職員や入居者数名の感染がありましたが感染拡大防止ができた。 (3)朝礼時に注意喚起を行うなど、交通事故防止に努めた。		

5 防火・防災・救助体制	<p>防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全・被害の軽減を図ると共に、みのり大山で行われる防災訓練(年2回)の参加、地域防災状況の把握、有事に迅速な対応ができる環境整備を行い、併設しているヘルパーステーションこもれびと協同して入所者様の安全の確保を行います。</p>	<p>6月 みのり大山の避難訓練(夜間想定)に1参加した。 10月 みのり大山の避難訓練に1参加した。</p>
6 職員の資質の向上と研修	<p>(1)鳥取県・各保険者・鳥取県介護支援専門員連絡協議会等主催の研修に随時参加します。</p> <p>(2)高齢者福祉専門部会、法人内ケアマネ連絡会に出席し、情報交換に努めます。</p> <p>(3)事業所内居宅支援会議の定期的な開催及び事例検討会の開催。 (4)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底 他職種連携、報・連・相を徹底することで業務の効率化やご利用者様等の安心安全、自立支援につなげていきます。 ・挨拶や、感謝の言葉を伝え職員間のコミュニケーションを図ります。 ・報連相＋確認をします。</p>	<p>(1)外部研修への参加 認定調査従事者研修8月オンラインにて(4名) 9/4苦情解決事業研修会(1名)、11/19高齢者の尊厳と権利擁護(1名) 11/25、3/7、3/10(各1名)、2/8、2/10(各2名)鳥取県介護支援専門委員協議会研修、1/24ケアプラン点検員研修(1名)、3/6生活支援スキルアップ研修中部地区(1名)3/8介護サービス事業者集団指導視聴(1名)、3/13高齢者虐待防止・権利擁護研修(職員向け1名・管理者向け1名)</p> <p>(2)法人内部研修 11/29一般職員研修(1名)3/11 管理職員研修(1名) Web研修 4/18(3名)6/20(4名)12/26(2名)2/20(4名) 会計研修11/22(2名) 10/19 スキルアップ「自立支援について」(3名) 「障害特性に合わせたコミュニケーションのとりかた(高齢者福祉専門部会)(3名)</p> <p>(3)施設内のOJT・職場研修を実施した。 (4)職員間の日常的な連携、報・連・相の徹底した。 LINEworksを活用し職員間の報連相に努めた。</p>
7 SDGsの取り組み	<p>「目標11住み続けられるまちづくりを」 「目標17パートナーシップで目標を達成しよう」 誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる社会を目指します</p>	<p>(5)SDGsの取り組み 抱えている困難事例や、悩み事が話せる雰囲気づくりに努めた。 裏紙を使うなどコピー用紙の再利用に努めた。また、休憩時間は消灯するなど節電対策を実行した。</p>
8 職員の健康維持・増進	<p>心身ともに健康で働くために、予防的な観点から健康保持増進に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業時間内のリフレッシュ体操、腰痛体操の実施 ・簡易のストレスチェックの実施(1回/6か月) ・管理者等のメンタルヘルスに関する研修参加 ・法定健康診断の実施及び健康指導における面談の実施(必要により継続的に面談を行う) 	<p>毎朝礼後に腰痛体操・ストレッチを実施した。</p> <p>3/11 管理職員研修にて「防ごうハラスメント」「アサーションとアンガーマネジメントを身に着けよう」を受講した。 9月に定期検診を実施。鳥取県中部地域産業保健センター産業医による意見聴取を依頼し健康相談を実施した。</p>
9 各種団体との連携と地域交流	<p>(1)広報紙の発行・配布</p> <p>(2)明倫・小鴨地域包括支援センター主催の茶話会(通称「あんの会」)に参加し、交流を通じて情報交換をします。</p> <p>(3)市町村で開催される「地域ネットワーク会議」及び各種研修会や、鳥取県介護支援専門員連絡協議会等の多職種連携の研修会に参加し、情報交換や連携を図ります。</p> <p>(4)法人主催の地域との交流行事に積極的に参加します。</p>	<p>(1)広報誌の発行は出来なかった。</p> <p>(2)あんの会 10/12(2名)</p> <p>(3)倉吉市ケアマネネットワーク会議兼課題整理総括表の書き方勉強会 6/15(4名)倉吉市ケア会議8/17.10/19.12/21(各1名)北栄町ネットワーク会議5/15(1名)10/11かもがわ包括エリア研修(1名)</p> <p>(4)福祉の里 夏祭り9月 文化祭に参加10月</p>